

金子兜太先生九十六歳を祝う会

記念投句優秀作品

S L 句 碑 巡り 号 運行

平成二十七年九月二十三日(水)

安西篤選

優秀作品

祝う日に母懐かしく与太と呼ぶ

原和幸

むかご飯なめみそで足る朝餉かな

富田ケサ子

よく伸びる兜太の鼻毛曼珠沙華

わだようこ

九十六歳踊る聖や夜夜の月

長谷川順子

産土の汽笛と黄花コスモスと

伊藤淳子

まんじゅしゃげ老婆手を振る波久礼なる

児玉悦子

数珠玉の微光よ誰か眼を閉じる

堀之内長一